

野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース (米ドル売り円買い) / Bコース (為替ヘッジなし)

野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース / 野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース

運用報告書(全体版)

第1期 (決算日2023年5月15日)

作成対象期間 (2022年12月14日～2023年5月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/資産複合/特殊型(絶対収益追求型)	
信託期間	2022年12月14日から2032年11月15日までです。	
運用方針	円建ての外国投資信託であるPIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド(円ヘッジ) / (円ヘッジなし)-リテールクラス受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド(円ヘッジ) / (円ヘッジなし)-リテールクラス受益証券への投資を中心としますが、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
	投資する円建ての外国投資信託において、米ドル売り円買いの為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
	投資する円建ての外国投資信託において、原則として対円建ての為替ヘッジを行ないません。	
主な投資対象	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース/Bコース	PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド(円ヘッジ) / (円ヘッジなし)-リテールクラス受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド(円ヘッジ) / (円ヘッジなし)-リテールクラス	世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、世界各国(新興国を含みます。)の債券等を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース/Bコース	株式への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行ないません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、原則として基準価額水準等を勘案して分配します。留保金の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 率				
(設定日)	円				%	%	%	百万円
2022年12月14日	10,000	—	—	—	—	—	—	477
1期(2023年5月15日)	9,509	0	△4.9	0.0	—	98.6	3,113	

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	率			
(設定日)	円		%	%	%	%
2022年12月14日	10,000	—	—	—	—	—
12月末	9,980	△0.2	0.0	—	94.9	
2023年1月末	10,014	0.1	0.0	—	97.3	
2月末	9,942	△0.6	0.0	—	98.9	
3月末	9,292	△7.1	0.0	—	98.9	
4月末	9,385	△6.2	0.0	—	95.7	
(期末)						
2023年5月15日	9,509	△4.9	0.0	—	98.6	

*騰落率は設定日比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 率				
(設定日)	円				%	%	%	百万円
2022年12月14日	10,000	—	—	—	—	—	—	2,258
1期(2023年5月15日)	9,608	0	△3.9	0.0	—	98.5	6,375	

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	標準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(設定日)	円		%	%	%	%
2022年12月14日	10,000	—	—	—	—	—
12月末	9,777	△2.2	0.0	—	97.4	
2023年1月末	9,641	△3.6	0.0	—	98.7	
2月末	10,021	0.2	0.0	—	98.3	
3月末	9,157	△8.4	0.0	—	98.2	
4月末	9,380	△6.2	0.0	—	98.7	
(期末)						
2023年5月15日	9,608	△3.9	0.0	—	98.5	

*騰落率は設定日比です。

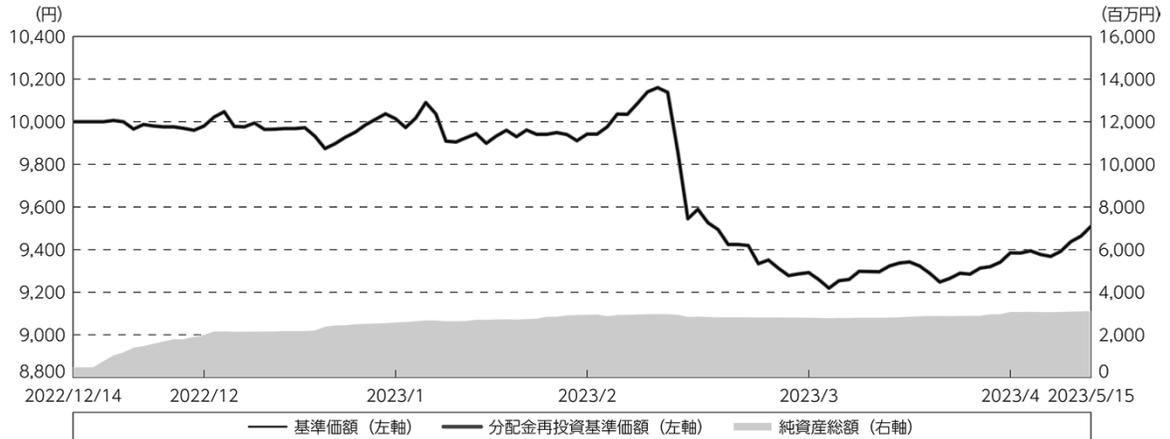
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,509円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 4.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

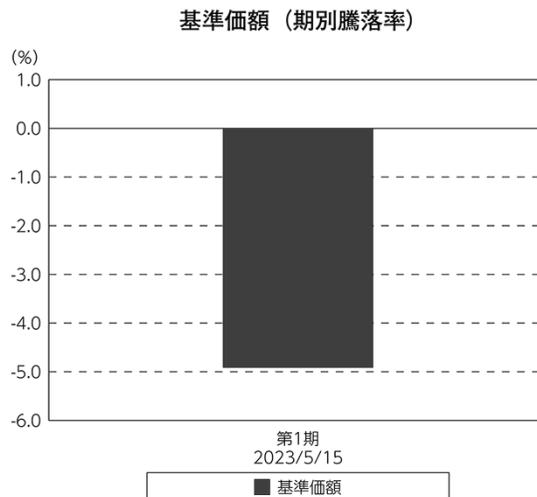
実質的に投資している世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益) 為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2022年12月14日～ 2023年5月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	59

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,608円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 3.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

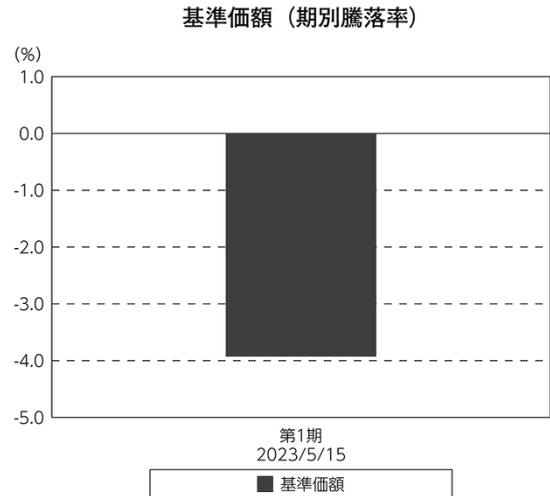
実質的に投資している世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)円/米ドルの為替変動

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2022年12月14日～ 2023年5月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	60

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

【世界株式市場】

期初から2023年1月にかけては、2022年12月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が前月比で低下したことなどにより、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げペースの鈍化が期待されたことから投資家心理が上向き、株式市場は概ね上昇基調で推移しました。2月から3月半ばにかけては、1月の米CPIなどが市場予想を上回ったことでFRBによる利上げ長期化への警戒感が高まったことや、米地銀の経営破綻をきっかけに信用不安が広がったことなどから、株式市場は下落基調で推移しました。3月の中旬以降、期末にかけては、米金融システムを巡る過度な懸念が和らぎ、投資家心理が改善したことや、米国でインフレ率の鈍化傾向が見られたことからFRBの利上げ打ち止め期待が高まり、株式市場は上昇基調で推移しました。

【世界債券市場】

期初から2023年1月にかけては、2022年12月の米CPI上昇率が前月比で低下したことなどにより、FRBの利上げペースの鈍化が期待されたことから概ね上昇基調で推移しました。2月にかけては、1月の米雇用統計が市場予想を大幅に上回ったことや、1月の米CPIなどが市場予想を上回ったことでFRBによる利上げ長期化への警戒感が高まったことなどを受け、下落基調で推移しました。3月は、米銀行の相次ぐ破綻を受けて金融システム不安が市場で広がり、FRBによる利上げ観測が後退したことなどを背景に上昇基調で推移しました。4月から期末にかけては、軟調な米国の経済指標によりFRBの追加利上げ観測が後退する一方で、根強い高インフレへの対応に一段の金融引き締めが必要との姿勢がFRB高官より示される中、概ね横ばいで推移しました。

【為替市場】

期初から2023年1月にかけては、2022年12月下旬に日銀が金融政策決定会合において、長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことや、2022年12月の米CPIでインフレの鈍化が続いていることが示されたことなどを背景に、円高・米ドル安となりました。2月にかけては、1月の米CPIの上昇率や1月の米PCE（個人消費支出）物価指数の上昇率が市場予想を上回ったことなどを受け、円安・ドル高が進みました。3月は、米銀行の相次ぐ破綻を受けて金融システム不安が高まる中、円高・ドル安が進みました。4月から期末にかけては、日銀が金融政策決定会合で金融緩和策を維持すると発表したことを受けて、日米金利差の拡大が進むとの観測から、円安・ドル高が進みました。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドのポートフォリオ

【野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース】

[PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジ）－リテールクラス] 受益証券および [野村マネーマザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジ）－リテールクラス] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

【PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジ）－リテールクラス】

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、定量モデルを用いたトレーディング戦略の活用によって絶対収益の獲得を目指して運用を行ないました。

当作成期におけるファンドの騰落率はマイナスとなりました。共通ポートフォリオにおいて、資産別でファンドに対するマイナスの影響が大きかったのは、金利、株式などとなりました。個別の寄与度では、カナダや米国の金利ポジションなどが下位となりました。

【野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース】

[PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジなし）－リテールクラス] 受益証券および [野村マネーマザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジなし）－リテールクラス] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

【PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジなし）－リテールクラス】

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、定量モデルを用いたトレーディング戦略の活用によって絶対収益の獲得を目指して運用を行ないました。

当作成期におけるファンドの騰落率はマイナスとなりました。共通ポートフォリオにおいて、資産別でファンドに対するマイナスの影響が大きかったのは、金利、株式などとなりました。個別の寄与度では、カナダや米国の金利ポジションなどが下位となりました。

<Aコース/Bコース>

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

◎今後の運用方針

[野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース]

[PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジ）－リテールクラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジ）－リテールクラス] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

[PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジ）－リテールクラス]

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、定量モデルを用いたトレーディング戦略の活用によって絶対収益[※]の獲得を目指します。

※絶対収益とは、特定の市場等の動きに対する超過収益ではなく、投資元本に対しての収益を意味します。また「絶対に収益が得られる」という意味ではありません。

また、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。

[野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース]

[PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジなし）－リテールクラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [PIMCOバミューダ・トラストⅣ－PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジなし）－リテールクラス] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

<Aコース/Bコース>

[PIMCOバミューダ・トラストIVーPIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー（円ヘッジなし）-リテールクラス]

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、定量モデルを用いたトレーディング戦略の活用によって絶対収益[※]の獲得を目指します。

※絶対収益とは、特定の市場等の動きに対する超過収益ではなく、投資元本に対しての収益を意味します。また「絶対に収益が得られる」という意味ではありません。

また、組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

＜Aコース＞

○ 1万口当たりの費用明細

(2022年12月14日～2023年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	41	0.424	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.115)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.300)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.009)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.425	
期中の平均基準価額は、9,722円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

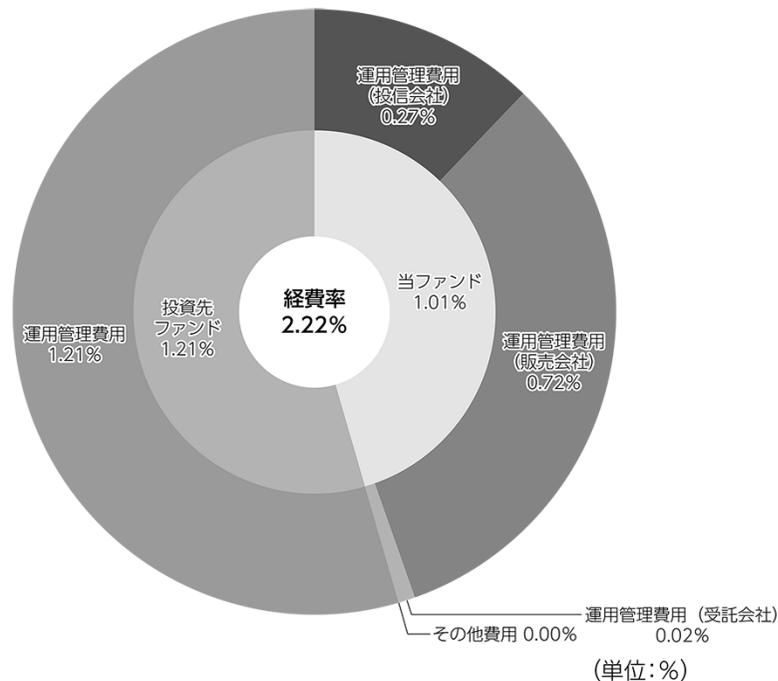
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.22%です。



経費率 (①+②)	2.22
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.21

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2022年12月14日～2023年5月15日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内 PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・ フューチャーズ・ストラテジー・ファンド- (円ヘッジ) -リテールクラス	335,738	3,325,968	10,456	103,090

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村マネー マザーファンド	98	100	—	—

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月14日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	柄	当期末		
		口数	評価額	比率
PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・ フューチャーズ・ストラテジー・ファンド- (円ヘッジ) -リテールクラス		325,282	3,069,360	98.6
合	計	325,282	3,069,360	98.6

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

<Aコース>

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド		千口 98	千円 99

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,069,360	% 98.2
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	54,608	1.8
投資信託財産総額	3,124,067	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,124,067,999
コール・ローン等	54,607,057
投資信託受益証券(評価額)	3,069,360,952
野村マネー マザーファンド(評価額)	99,990
(B) 負債	10,842,247
未払信託報酬	10,807,011
未払利息	43
その他未払費用	35,193
(C) 純資産総額(A-B)	3,113,225,752
元本	3,273,885,558
次期繰越損益金	△ 160,659,806
(D) 受益権総口数	3,273,885,558口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,509円

(注) 期首元本額は477,414,217円、期中追加設定元本額は2,953,797,153円、期中一部解約元本額は157,325,812円、1口当たり純資産額は0.9509円です。

○損益の状況 (2022年12月14日～2023年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	27,423,123
受取配当金	27,441,743
受取利息	5
支払利息	△ 18,625
(B) 有価証券売買損益	△149,907,543
売買益	3,581,137
売買損	△153,488,680
(C) 信託報酬等	△ 10,842,204
(D) 当期損益金(A+B+C)	△133,326,624
(E) 追加信託差損益金	△ 27,333,182
(配当等相当額)	(2,995,236)
(売買損益相当額)	(△ 30,328,418)
(F) 計(D+E)	△160,659,806
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△160,659,806
追加信託差損益金	△ 27,333,182
(配当等相当額)	(2,995,248)
(売買損益相当額)	(△ 30,328,430)
分配準備積立金	16,580,975
繰越損益金	△149,907,599

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年12月14日～2023年5月15日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年12月14日～ 2023年5月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	16,580,975円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,995,248円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	19,576,223円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	59円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

＜Bコース＞

○ 1万口当たりの費用明細

(2022年12月14日～2023年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	41	0.424	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.115)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.300)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.009)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.425	
期中の平均基準価額は、9,595円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

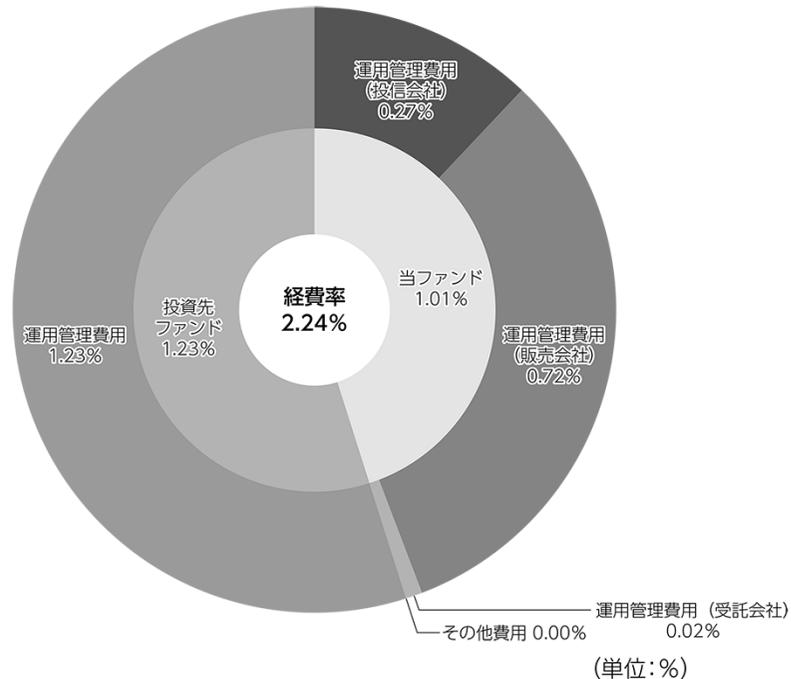
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.24%です。



経費率(①+②)	2.24
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.23

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2022年12月14日～2023年5月15日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・ フューチャーズ・ストラテジー・ファンド- (円ヘッジなし)-リテールクラス	675,335	6,613,319	11,344	106,288

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
野村マネー	マザーファンド	98	100	-	-

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月14日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		当期末		
		口数	評価額	比率
PIMCOバミューダ・トラストIV-PIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・ フューチャーズ・ストラテジー・ファンド- (円ヘッジなし)-リテールクラス		663,991	6,282,018	98.5
合	計	663,991	6,282,018	98.5

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

<Bコース>

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド		千口 98	千円 99

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 6,282,018	% 98.2
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	117,679	1.8
投資信託財産総額	6,399,796	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,399,796,771
コール・ローン等	117,677,930
投資信託受益証券(評価額)	6,282,018,851
野村マネー マザーファンド(評価額)	99,990
(B) 負債	23,910,732
未払信託報酬	23,832,970
未払利息	94
その他未払費用	77,668
(C) 純資産総額(A-B)	6,375,886,039
元本	6,636,263,432
次期繰越損益金	△ 260,377,393
(D) 受益権総口数	6,636,263,432口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,608円

(注) 期首元本額は2,258,006,395円、期中追加設定元本額は4,569,800,528円、期中一部解約元本額は191,543,491円、1口当たり純資産額は0.9608円です。

○損益の状況 (2022年12月14日～2023年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	60,558,439
受取配当金	60,595,082
受取利息	16
支払利息	△ 36,659
(B) 有価証券売買損益	△218,523,794
売買益	8,616,750
売買損	△227,140,544
(C) 信託報酬等	△ 23,910,638
(D) 当期損益金(A+B+C)	△181,875,993
(E) 追加信託差損益金	△ 78,501,400
(配当等相当額)	(3,450,922)
(売買損益相当額)	(△ 81,952,322)
(F) 計(D+E)	△260,377,393
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△260,377,393
追加信託差損益金	△ 78,501,400
(配当等相当額)	(3,451,002)
(売買損益相当額)	(△ 81,952,402)
分配準備積立金	36,648,373
繰越損益金	△218,524,366

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年12月14日～2023年5月15日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年12月14日～ 2023年5月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	36,648,373円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,451,002円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	40,099,375円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	60円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村マネー マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日2022年8月19日）

作成対象期間（2021年8月20日～2022年8月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行ないません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	中率			
16期(2018年8月20日)	円 10,206		% △0.0	% 38.7	% —	百万円 13,511
17期(2019年8月19日)	10,205		△0.0	59.3	—	8,458
18期(2020年8月19日)	10,203		△0.0	68.2	—	3,175
19期(2021年8月19日)	10,200		△0.0	60.1	—	9,159
20期(2022年8月19日)	10,199		△0.0	57.5	—	7,850

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

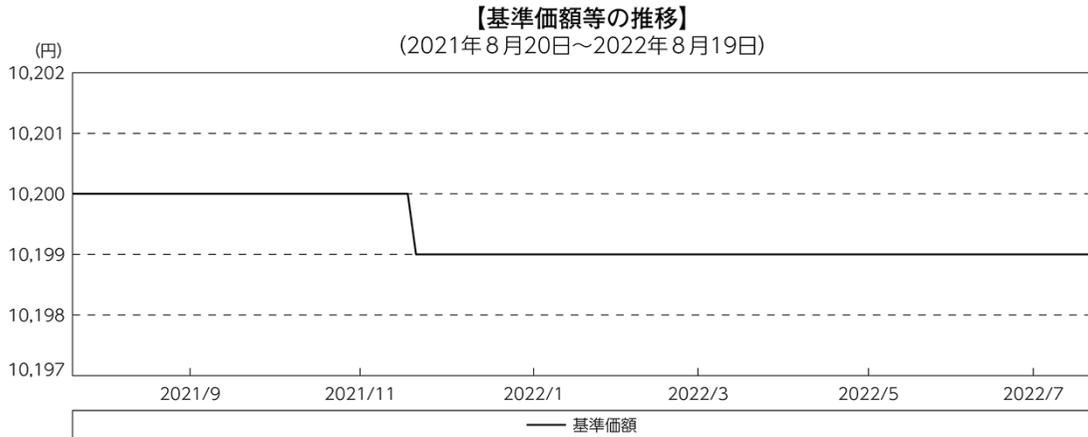
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2021年8月19日	円 10,200		% —	% 60.1	% —
8月末	10,200		0.0	56.8	—
9月末	10,200		0.0	55.1	—
10月末	10,200		0.0	51.6	—
11月末	10,200		0.0	54.5	—
12月末	10,199		△0.0	52.1	—
2022年1月末	10,199		△0.0	57.1	—
2月末	10,199		△0.0	57.5	—
3月末	10,199		△0.0	59.5	—
4月末	10,199		△0.0	60.1	—
5月末	10,199		△0.0	62.0	—
6月末	10,199		△0.0	55.6	—
7月末	10,199		△0.0	53.7	—
(期末) 2022年8月19日	10,199		△0.0	57.5	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、消費や雇用環境などには持ち直しの動きが見られました。このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2021年12月には、2022年3月末が期限となっていた「新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラム」について中小企業向けに部分的な延長を決定しました。

TDB (国庫短期証券) 3ヵ月物の利回りは、期を通して概ね-0.1%台で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は0~-0.05%程度で推移しました。

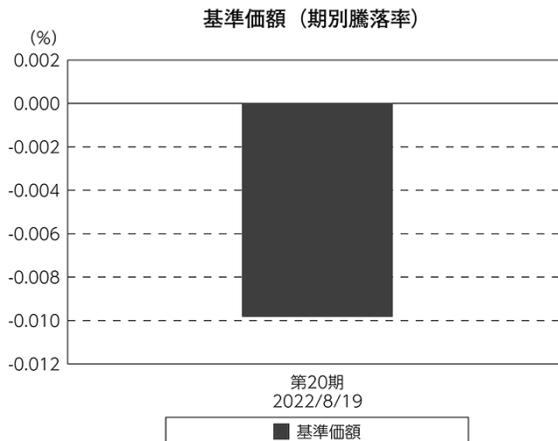
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2021年8月20日～2022年8月19日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年8月20日～2022年8月19日)

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 4,055,682	千円 — (4,600,000)
	特殊債券	7,031,417	— (6,457,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	2,136,048	— (3,130,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分です。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月20日～2022年8月19日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	百万円 13,223	百万円 30	% 0.2	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

(2022年8月19日現在)

○組入資産の明細

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	750,000 (750,000)	750,520 (750,520)	9.6 (9.6)	— (—)	— (—)	— (—)	9.6 (9.6)
特殊債券 (除く金融債)	2,430,000 (2,430,000)	2,431,889 (2,431,889)	31.0 (31.0)	— (—)	— (—)	— (—)	31.0 (31.0)
金融債券	530,000 (530,000)	530,049 (530,049)	6.8 (6.8)	— (—)	— (—)	— (—)	6.8 (6.8)
普通社債券 (含む投資法人債券)	800,000 (800,000)	800,923 (800,923)	10.2 (10.2)	— (—)	— (—)	— (—)	10.2 (10.2)
合 計	4,510,000 (4,510,000)	4,513,382 (4,513,382)	57.5 (57.5)	— (—)	— (—)	— (—)	57.5 (57.5)

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
地方債証券	%	千円	千円
東京都 公募第711回	0.82	300,000	300,218
福岡県 公募平成24年度第4回	0.84	50,000	50,007
千葉県 公募平成24年度第5回	0.82	100,000	100,074
共同発行市場地方債 公募第114回	0.82	300,000	300,220
小 計		750,000	750,520
特殊債券(除く金融債)			
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第96回	0.796	300,000	300,221
日本高速道路保有・債務返済機構承継 財投機関債第13回	2.28	150,000	150,305
地方公共団体金融機構債券 第40回	0.825	110,000	110,101
地方公共団体金融機構債券 第41回	0.801	100,000	100,146
地方公共団体金融機構債券 第42回	0.801	40,000	40,086
日本政策金融公庫社債 第30回財投機関債	0.825	300,000	300,456
都市再生債券 財投機関債第68回	0.854	200,000	200,159
都市再生債券 財投機関債第71回	0.767	200,000	200,131
日本学生支援債券 財投機関債第60回	0.001	300,000	300,000
日本学生支援債券 財投機関債第61回	0.001	100,000	100,000
国際協力機構債券 第14回財投機関債	0.825	300,000	300,221
東日本高速道路 第48回	0.09	100,000	100,032
西日本高速道路 第37回	0.09	130,000	130,016
西日本高速道路 第38回	0.09	100,000	100,010
小 計		2,430,000	2,431,889
金融債券			
商工債券 利付第811回い号	0.17	30,000	30,018
しんきん中金債券 利付第333回	0.09	200,000	200,011
商工債券 利付(3年)第236回	0.02	300,000	300,019
小 計		530,000	530,049
普通社債券(含む投資法人債券)			
伊藤忠商事 第67回社債間限定同順位特約付	0.964	100,000	100,052
東京三菱銀行 第57回特定社債間限定同順位特約付	2.22	100,000	100,408
三井不動産 第46回社債間限定同順位特約付	0.964	200,000	200,063
三菱地所 第111回担保提供制限等財務上特約無	0.929	300,000	300,205
電源開発 第35回社債間限定同順位特約付	1.126	100,000	100,193
小 計		800,000	800,923
合 計		4,510,000	4,513,382

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,513,382	57.5
コール・ローン等、その他	3,340,370	42.5
投資信託財産総額	7,853,752	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月19日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	7,853,752,692
コール・ローン等	3,326,621,034
公社債(評価額)	4,513,382,357
未収利息	7,215,305
前払費用	6,533,996
(B) 負債	3,470,854
未払解約金	3,470,000
未払利息	854
(C) 純資産総額(A-B)	7,850,281,838
元本	7,697,164,972
次期繰越損益金	153,116,866
(D) 受益権総口数	7,697,164,972口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,199円

(注) 期首元本額は8,979,256,768円、期中追加設定元本額は3,202,453,404円、期中一部解約元本額は4,484,545,200円、1口当たり純資産額は1.0199円です。

○損益の状況 (2021年8月20日～2022年8月19日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	23,315,784
受取利息	23,990,043
支払利息	△ 674,259
(B) 有価証券売買損益	△ 24,456,523
売買損	△ 24,456,523
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,140,739
(D) 前期繰越損益金	179,893,174
(E) 追加信託差損益金	63,852,596
(F) 解約差損益金	△ 89,488,165
(G) 計(C+D+E+F)	153,116,866
次期繰越損益金(G)	153,116,866

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)プライス(適格機関投資家専用)	1,997,050,289
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Rプライス(適格機関投資家専用)	1,941,761,887
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)ハイブリッド30(適格機関投資家専用)	1,503,668,510
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	1,248,281,712
野村世界業種別投資シリーズ(マネーボール・ファンド)	441,709,194
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家販売制限付)	188,174,367
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーボール・ファンド)	128,372,175
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134
野村世界高金利通貨投信	34,318,227
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405
ネクストコア	2,282,012
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバルCB投信(円コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(円コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,543
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	984,252

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型	984,252
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	984,252
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(円コース)年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	983,768
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)年2回決算型	983,672
野村テンプレートン・トータル・リターン Aコース	983,381
野村テンプレートン・トータル・リターン Cコース	983,381
野村テンプレートン・トータル・リターン Dコース	983,381
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	983,091
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,898

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609
野村日本ブランド株投資(円コース)毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	982,609
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609
野村新世界高金利通貨投信	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(円コース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)年2回決算型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース)毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース)年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(中国元コース)年2回決算型	982,608
野村アジアCP投信(毎月分配型)	982,608
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース)毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース)年2回決算型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(中国元コース)毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	982,607
野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,415
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,029

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,029
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)年2回決算型	981,451
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	981,451
野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	981,451
ノムラ THE USA Aコース	981,258
ノムラ THE USA Bコース	981,258
野村グローバルボンド投信 Bコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Dコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Fコース	980,489
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)年2回決算型	980,297
グローバル・ストック Bコース	979,528
グローバル・ストック Dコース	979,528
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)毎月分配型	626,503
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	398,357
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)年2回決算型	373,897
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)毎月分配型	177,539
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース)毎月分配型	149,947
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)年2回決算型	132,547
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)毎月分配型	123,377
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	100,946
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,262
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,261
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261
野村米国ブランド株投資(円コース)毎月分配型	98,261
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,260
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049
野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース	98,020

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース	98,020
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース	98,011
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース	98,011
(年3%目標払出)のむらっぴ・ファンド(普通型)	98,001
(年6%目標払出)のむらっぴ・ファンド(普通型)	98,001
グローバル・ストック Aコース	97,953
グローバル・ストック Cコース	97,953
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース)年2回決算型	63,772
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)毎月分配型	48,092
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)年2回決算型	41,054
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	27,600
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)毎月分配型	23,859
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)年2回決算型	18,851
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	14,308
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)年2回決算型	13,741
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)年2回決算型	9,826
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,826
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Aコース	9,818
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Bコース	9,818
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,809
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,808
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,808

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,805
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)毎月分配型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)年2回決算型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)年2回決算型	9,803
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)毎月分配型	9,797
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)年2回決算型	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)年2回決算型	3,114
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)毎月分配型	966

〇お知らせ

該当事項はございません。